

地域還元施設等整備基本計画を策定しました

白雲荘に替わる新しい還元施設については、地域還元施設検討委員会を発足しこれまで検討してきました。昨年度は、茨城大学人文社会科学部 原口弥生教授を委員長とし、地元区長会長等の地元住民を代表する方々に委員として参加していただき、施設整備の方針となる基本構想を策定しました。

今年度は、筑波学院大学経営情報学部ビジネスデザイン学科 武田直樹講師を新たな委員長とし、さらに構成市町の女性団体連絡協議会を代表する方々も加え、基本構想をより具体化するため、広い視点から協議を重ね、令和2年3月18日の第4回地域還元施設等検討委員会において基本計画としてまとめ、委員会からの要望等とあわせて管理者へ答申書を提出されました。



地域還元施設検討委員会の様子



右から、武田委員長・原口委員

施設の検討の過程として、検討委員会では、地質調査等の結果を踏まえ建設予定地を決定し、その後、昨年度実施したアンケートやパブリックコメント等で寄せられた要望を基に協議してきました。また、サウンディング市場調査を行ない、民間活力の導入の可能性や、民間事業者のノウハウを聞き取り、導入する機能の協議の参考としました。

協議を重ねた結果、バリアフリーに考慮した平屋1階建ての温浴設備やジムスタジオ、ウォーキングプール等を備える施設配置計画としました。

今回策定された基本計画を受け、令和2年度はより具体的に基本・実施設計を進めます。また、開設時間や利用料金、アクセス方法についても令和2年度に詳細を協議し、令和4年度中の開館を目指して進めてまいります。

基本計画策定に係るパブリックコメント等におきましては、多くの貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。

今後につきましても、地域に寄り添いスピード感をもって事業推進に努めていきますのでご理解・ご協力のほどよろしく申し上げます。

【本件事業に関するお問い合わせ先】

□事業全体に関するもの：霞台厚生施設組合 建設計画課 TEL 0299-56-7773

組合ウェブサイト (<http://kasumidai.or.jp/>) に関連資料を掲載しています